

すわみつえ通信

No.55

日本共産党鴻巣市議員 諏訪 三津枝

2018年 12月17日(月)



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ

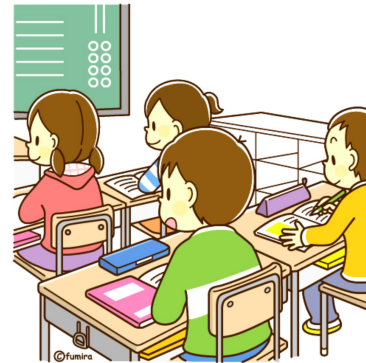


ホームページを改修中です。
公開まで暫くお待ちください

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

市議会 12月定例会 一般質問で取り組みます

小規模校で子どもたち一人ひとりに行き届いた教育を



市教育委員会は笠原小学校の保護者に11月16日付で「今後の笠原小学校について」意見交換会の開催についてという文書を出しました。期日は11月29日と30日で各保護者会に続いての開催です。あまりにも突然で、しかも内容は「児童数減少で複式学級を視野にいれなければならない」というものでした。笠原小学校においては自治会の住民の方々が、地域の「コミュニティ」の核であり、防災拠点ともなる学校を守る、何よりも子どもたち一人ひとりが大事にされる教育をと、「適正配置」の名の下に「学校統廃合」に反対しています。すわみつえ議員も2年間に亘り議会ですべての声を届けてきました。地域住民の意見を聞かずに保護者との意見交換だけで、一方的に進めようとする市政を質していきます。

総合病院誘致は どうなる

11月8日開催の「県央地域保健医療地域医療構想協議会」で病院整備計画の公募に社会医療法人・壮幸会が箕田地内に120床の病院計画を応募し、来年1月の埼玉県医療審議会で審議されることが発表されました。

当市が求める小児科と産婦人科が含まれていない計画ですが、病院ができる兆しは嬉しいことです。この間、病院誘致に市はどう取り組んできたか、また、現在積み立てている「鴻巣市地域医療体制整備基金」の使途を質していきます。

北新宿区画整理に伴う 児童数増でさらに危険 を増す通学路の安全を

北新宿から吹上小学校に通う通学路で元荒川にかかる洲崎橋と続く道路が狭く、登校時は特に車の往来が多い危険な箇所があります。地域の方々から「洲崎橋に歩道橋を付けて車と歩行者を分けられないか」とご意見をいただきました。

現地を調査したところ、朝の7時15分から7時20分の5分間で、各登校班の100人を超える児童が橋を渡り、その間、車が7台行き交いました。

交通指導員の方と保護者の方たちが子どもたちの安全を見守っていました。道路拡幅と洲崎橋に歩道橋設置を求めていきます。



12月5日7時20分の須崎橋の状況

今年も子育てフェスタ を楽しみました

12月9日(日)に市民活動センターで行われた「子育てフェスタ」に参加し、ボランティアで関わる「わくわくサロン」のブースで、赤ちゃんからちゅうと大きい子どもたちの手形・足形取りのお手伝いをして楽しませていただきました。



毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

経済 アングル

しんぶん赤旗 11月27日付

政府・財界の社会保障
バッシングが常軌を逸し
ています。

「受益と負担の対応関
係が断ち切られている。
「将来世代へ負担が先送
られている」。「我が国財
政の悪化の最大の要因」

財政制度等審議会(財
務相の諮問機関)が20日

に発表した建議は「平成
財政の総括」と称して社
会保障制度への攻撃を繰
り広げました。「平成とい
う時代」は、受益の拡大と
負担の軽減・先送りを求
めるフリーライダー(た
だ乗りする人)の圧力」
に「抗いきれなかった時
代」だとまで述べました。
まるで社会保障給付を受
ける国民に個人的遺恨を
抱いているかのような悪
罵の投げつけ方です。

建議を作成した財政制
度分科会の責任者は経団
連前会長の橋原定征・東
レ相談役です。資本の代

「平成財政」の真の姿

弁者の目には現実がゆが
んで映るのでしょうか。
年金の支給開始年齢は先
送りされて支給額は減ら
され、医療・介護の自己
負担は増やされてきたの
が「平成という時代」で
した。「受益」は拡大し
てなどいけません。

税負担も軽減されてい
ません。同分科会の参考
資料からも、高所得者の
負担を低・中所得者に転
嫁したのが「平成という
時代」だったことは明白
です。

国の一般会計収収は1
990年(60・1兆円)

と2018年(59・1兆
円)ではほぼ横ばいでした。
しかし内訳を見ると、消
費税収が4・6兆円から
17・6兆円に13兆円も増
加。他方で法人税と所得
税の税収は44・4兆円か
ら31・2兆円へ13・2兆
円も減りました。この
間、法人税率は37・5%
から23・2%へ、所得税
の最高税率は60%から45
%へ下げられました。
経済・財政再建のため
の処方箋を書くなら、ま
ずは病状の診断を正しく
下さなければなりません。
(杉本恒如)

ちょっと待った!! やっちゃいけない
消費税10%
今こそ声をあげよう

社会保障のためと
いいながら
大企業減税の穴埋めに

消費税
372兆円

法人3税
減税
291兆円

政府は消費税増税分を「教育や子育てに回す」としています。しかし、消費税増税は、子育て世代を含めた全世代の暮らしを直撃します。政府はこれまでも、消費税増税は「社会保障のため」と言ってきましたが、社会保障は良くなるどころか負担増・給付減の改悪が続いています。消費税収はどこにいったのか。消費税収の約8割は、大企業減税などによる法人税減収の穴埋めに消えていきました。

「社会保障のため」と消費税が導入されて30年。この間、国民から吸い上げた消費税総額は372兆円に上ります。ほぼ同時期に法人3税は291億円も減税されています。

医療も介護も年金も福祉も悪くなるばかりです。財源というなら、これまで優遇され、莫大なもうけを上げている大企業やカルロス・ゴーン氏のような富裕層に増税すれば、10%増税分の4兆6000億円はクリアできます。消費税10%をストップさせましょう。

しんぶん赤旗 12月6日付

消費税増税は「リスク要因」

若田部昌澄日銀副総裁は5日、新潟市で講演し、2019年10月に予定される消費税率引き上げに關し「経済・物価に対するリスク要因だ」と述べ、景気悪化の可能性に警戒感を示しました。

若田部副総裁は、物価上昇率が1%程度と目標の2%に届かない現状を指摘し、「再び経済への下押し圧力があるとデフレに戻ってしまうかもしれない」と

若田部日銀副総裁が警戒感

強調。「物価下落が加速せず緩やかなものであっても、経済に大きな負の影響をもたらし得る」と述べ、大規模金融緩和を今後も継続していく考えを明らかにしました。

米中貿易摩擦をめぐっては「現時点では影響は限定的」としながらも、「問題が複雑化し、長引けば世界経済への下押し圧力が強まっていく可能性がある」と語りました。

2019年度の社会保障費削る

安倍政権が2019年度 政権復帰後6年連続で「予算案で、高齢化などに伴う社会保障費の「自然増」を5千億円未満に抑えるための調整を進めている。2019年度に見込んで6千億円の伸びを1千億円超も削り込むものです。

社会保障費の自然増分は、医療・介護など現行制度を維持するのに必要な予算です。にもかかわらず、財務省はさらなる削減を迫っています。

自然増1000億円超圧縮へ